

モニタリングポストの観測数値は24時間表示を！

前号で市内のモニタリングポストが増設され、14基になったことのお知らせしましたが、観測した数値の表示が午前9時から午後6時までとなっていること、いざというときに県放射線監視センターへの電話が繋がらない時間帯があることがこのほど判明しました。

モニタリングポストはいざというときの重要な観測機器です。県民の目に見えるかたちで観測されていることが大事です。ホームページへのデータのアップは勿論ですが、現場でも24時間、目に見えるようにしてもらいたいものです。そして、いざという時の連絡が24時間、いつでもできる、これも当然でしょう。

日本共産党議員団は市役所や県の監視センターにこれらについて改善を求めました。写真は吉川区総合事務所付近のモニタリングポストと平良木哲也前市議。



新潟県の最賃は低すぎ、改善働きかけてと要請

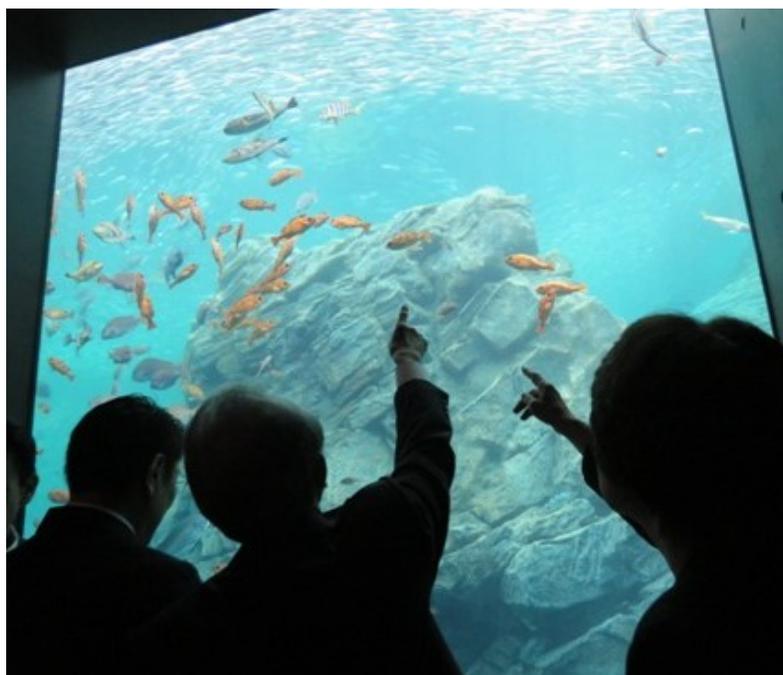
新潟県労働組合総連合（県労連）代表が27日、上越市を訪れ、市長から新潟地方労働局長に対し、最低賃金の大幅引き上げ、中小企業への支援策の拡充などを働きかけてほしいと要請しました。当日は土橋均副市長などに要請、私も同席しました。

県労連側は、「新潟県は関東甲信越・北陸13県のなかで最低額という状況が続いている。少なくとも近県並みにならないと人口流出はとまらない」と訴えました。土橋副市長は、「地域経済にとって大きな課題。市長に伝える」と答えました。

上越市民にとって6月26日は特別な日になりました。新水族博物館がグランドオープンしたからです。大勢の人たちが出かけました。

新念式典で村山秀幸市長は、「上越市民の暮らしはいつも海とともにあった。身近で特別な存在だ。これから海と人との共生の物語をはぐくんできていきたい」と挨拶しました。また、高鳥修一代議士は昭和9年に始まる民間の水族館の前に能生で、その原型ともなるものがあつたことを披露し、注目されました。

海と人のものがたり、これから



大水槽の中を泳ぐ魚たちを見て喜ぶ人たちの26日、撮影。



【イヌマトラノオ】サクラソウ科の多年草。漢字で「犬沼虎の尾」と書きます。オカトラノオとヌマトラノオの交雑種。花期は6月～7月。湿地で咲いています。花言葉は「たくましい」。

はしづめ法一の活動レポート

No.1864 2018.7.1
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第五二二回

広角レンズ

ほんのひと工夫しただけで撮影がこんなにも楽しくなるとは……。今回はカメラレンズの話です。

先日、大島区へ行ったときのことです。板山から田麦へ向かうため、県道一三号線から昔は通学道路でもあった市道に入っただけでした。右手下の県道の端に五、六人の男性の姿が見えました。そのなかの一人が私の知っている人に似ているなと思いい、車をそこへと進めました。

車から降りてみると、全員がカメラを手に持って板山地内を流れる川の上流を見ていました。あとで分かったことですが、川の床が段々になっていてところを流れる美しい滝を撮っていたのでした。

少し経ってから、最も体格いい人が、「橋爪さんですよ」と声をかけてくださいました。「そうです」と返事をすると、今度は細身で背の高い人が私のそばにやってきて名刺をくださいました。びっくりしましたね、写真インスタクターをやっている西ヶ窪の渡邊繁信さんだったのでした。

滝をどう撮るか。「三脚を使ってカメラを固定することが大事なんです」「ガードレールにカメラをくっつけるだけでもいいですよ」私の耳には渡邊さんのアドバイスがいくつかが聞こえてきました。そうこうしているうちに、渡邊さんが私のところまでやってきて、「面白いものを見せてくださいました。それはスマートフォンにつけるクリップ方式の広角レンズでした。」

ワンタッチで広角レンズをつけ、渡邊さんが試し撮りしたスマートフォン画面を見せられましたら、普通のレンズよりも広く撮れていましたし、画面全体が丸くなくなっていました。これなら、いままでよりも広く、しかも立体的に撮れます。広角レンズがもたらす威力に驚いた私は、「なるほど

ね、すごいもんですね」と言いました。

私が強い関心を持ったことを知った渡邊さんは、「このレンズは百円ショップで求めることができますよ」とも教えてくださいました。広角レンズを簡単にスマートフォンに装着できる、撮った写真はこれまでにない画像となる、レンズの値段はたったの百円。そう思ったら、ワクワクした気持ちになりました。

次の日曜日、妻を高田まで送った私は、その足で百円ショップに行きました。お店の人に案内してもらい、レンズのコーナーに行くと、クリップ式のレンズが二種類ありました。広角レンズとマクロレンズです。いずれも税込みで一〇八円。私はどちらも購入しました。

ひとたび購入すれば、レンズの効果を試してみたくありません。

この日は午後から春日野駐車場で上越市消防点検がありました。私はテント席の最前列でポンプ操作などを見るのができます。早速、入場行進、全員が整列したところ、小型ポンプ操作などを撮ってみました。ここまでは、普通のレンズよりも広く撮れているな、という程度の思いでした。

「おおっ、ここまで撮れるのか」とうれしくなったのは消防事務組合の消防士のみならず、化学消防車などが繰り出す大々的な訓練です。駐車場の端から端まで使った訓練ではハシゴ車付近に水がかげられ、ハシゴ車からも放水が行われる、といった光景が目の前に現れました。この様子を私は広角レンズを使い、動画で撮ってみました。今までとは違う迫力が出ていました。

広角レンズを入手して以来、私は毎日のようにこのレンズで写真を撮りまくっています。みなさんには、おもちゃを買ってもらった子どものように見えるかも。

地域で普通に暮らせるように

吉川区河沢地内でオープンしたグループホーム「いおい」の開設報告会と祝宴会が6月22日、同区原文町の割烹にて行われました。

同ホームは空き家となっていた民家を改造してつくられました。障がいを持っている人たちがふつうの家で、地域の人たちとともに暮らしている様子が生き生きと報告されました。

入居者のうち2人は私の知っている人でした。1人はHさん、もう1



人はTさんの会ではTさんが、「私の家がグループホームになりました。私はずっとここで暮らしていきます」と語りました。この言葉を聞いたとき、もう少しで涙をこぼすところでした。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのことです。

| | 6月20日(水) | 6月27日(水) |
|--------|----------|----------|
| 上越南消防署 | 0.050 | 0.040 |
| 上越北消防署 | 0.050 | 0.047 |
| 新井消防署 | 0.050 | 0.047 |
| 頸北消防署 | 0.053 | 0.040 |
| 頸南消防署 | 0.070 | 0.060 |
| 東頸消防署 | 0.050 | 0.040 |
| 高士分遣所 | 0.053 | 0.050 |
| 名立分遣所 | 0.057 | 0.050 |



24日は上越市消防点検でした。この日の小型ポンプ操法競技では、吉川方面隊尾神分団が初優勝しました。

小型ポンプ操法の第2位は中郷方面隊中郷第一分団、第3位は柿崎方面隊米山分団でした。

また、ポンプ車の操法競技は、第1位が上越方面隊第三分団、第2位が上越方面隊第一分団、第3位が上越方面隊八千穂分団でした。2つの優勝チームは7月29日の県消防大会に出場します。